

# 高 知 家 高 だ よ り



## 年間1000名突破！みんなあが高知家の家族に！ 「高知県の移住促進施策」

- ◆年間1000組の移住者を目指して。高知県の移住促進施策と、支援する組織
- ◆大都市にも負けてない！数字で見る高知家の暮らし
- ◆続々と高知家の家族に！高知へ移住された人々

### 年間1000組の移住者を目指して。高知県の移住促進施策

高知県では、2019年度に移住者数を年間1000組に増やす目標を掲げ、様々な促進施策を行っています。

#### 新組織 官民でつくる新組織「高知県移住促進・人材確保センター」

県、市町村及び民間団体の参画のもと、移住（県移住・交流コンシェルジュ）と人材確保（県事業承継・人材確保センター）の窓口を統合のうえ、移住相談から就職相談までを一元的に担う、新しい組織「一般社団法人高知県移住促進・人材確保センター」を設立しました。本年10月17日から本格的に業務を開始しており、全市町村と民間団体が参加する団体の法人化は**全国初**。

このセンターでは、**県内の人材ニーズの掘り起こしやU・Iターン希望者とのマッチング**などの取り組みを、人材の確保や人手不足の解消などを図り、地域の発展を目指しています。



#### イベント 高知県最大の移住・就職相談会！「高知暮らしフェア」

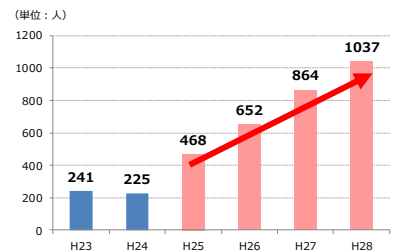
県内各地の暮らし情報から、仕事・住まい情報に至るまで、**高知のあらゆる情報満載**の相談会です。東京・大阪にしながら、**高知県人と“生の声”で直接話せる**機会です。

- 【東京会場】 12月16日（土） 11:00～16:30  
新宿エルタワー30階「サンスカイルーム」（東京都新宿区西新宿1-6-1）
- 【大阪会場】 12月17日（日） 11:00～16:30  
グランフロント大阪北館B2階「コングレコンベンションセンター」  
（大阪府大阪市北区大深町3-1）



#### 年間1000名突破！高知家への移住は順調に増加中

高知家プロモーションを開始した2013（平成25年）年度以降、移住者数も順調に増加。**2016年度には683組1037人**と、1000人を突破しています。



### 2017年度高知家プロモーション キャッチフレーズ「高知家は、いろんな家族で大家族。」

2017年度の高知家は、「高知家は、いろんな家族で大家族。」をキャッチフレーズとし、“高知家の家族”という高知家の基本メッセージを改めて発信し、いろんな人たちと家族のように集い、どんな人でも温かく迎える「受け入れ力」を強くPRしていきます。

ポスターは様々な家族が集まって一つの大きな家族を作っていることを表現。たとえば「よさこい家族」は、踊るチームに関係なく、よさこい踊りに魅せられた人たちがみんなが“よさこいでつながった家族”であることを意味しています。



島崎さんも、カツオ好きも、  
飲み仲間も、お遍路さんも、  
よさこいチームも、  
お久しぶりも、  
移ってきた人も、  
それぞれいろいろ。  
だけど、みんなあが家族。  
いろんな家族が集まって  
おっきな家族。

▲2017年度高知家プロモーションポスタービジュアル

#### － 本件に関するお問い合わせ先 －

「高知家プロモーション」広報事務局（共同ピーアール(株)内）担当：三本、貝井、佐瀬、神津）

TEL：03-3571-5365 FAX：03-3571-5259 Mail：kochike2017-pr@kyodo-pr.co.jp

## ★移住トピックス★

### 「高知県移住・交流コンシェルジュ」

高知県への移住をお考えの方に、地域や住居、仕事などのご希望やご質問をお伺いし、実現のための支援情報のご提供や、不安の解消といった側面からサポートする“移住総合案内人”です。

本年10月に開所した「移住促進・人材確保センター」に機能統合しました。

⇒高知暮らしのポータルサイト「高知家で暮らす。」

URL : <http://www.pref.kochi.lg.jp/~chiiki/iju/>

### 「高知県事業継承・人材確保センター」

平成27年度に、県内企業の後継者や中核人材の確保に取り組むために設置。人材のマッチング実績も、平成27年度の11組から昨年度は**70組（うち移住者53組）**と大幅に増加。

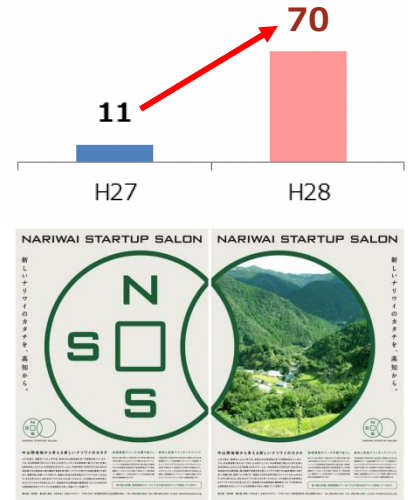
本年10月に開所した「移住促進・人材確保センター」に機能統合しました。

⇒高知で働きたい！を応援します「高知求人ネット」

URL : <https://syoukei-jinzai.jp/kochi-kyujinnet/>



■事業承継・人材確保センターの実績（企業求人とのマッチング数）

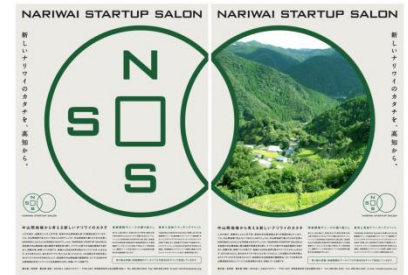


### 「新しいナリワイの形を、高知から。」

高知県では、中山間地域にある資源や課題を持ち寄り、地域で暮らすための『ナリワイ』の種として可視化していく取組を実施しています。イベントの詳細はウェブサイト等で公開しています。是非ご参加ください！

- ナリワイづくりパーティー『NARIWAI STARTUP SALON』  
資源や課題を持ち寄り、月3万円を稼ぐナリワイ創出に繋げるイベントを県内3か所で開催します。
- 地域の資源・課題のデータベース  
資源や課題を、ウェブサイト上のデータベースで可視化します。
- 資源や課題と起業家のマッチング『ISSUE DESIGN LAB』  
資源や課題と、それを活用するアイデアをもつ起業家のマッチングイベントを、東京と高知で各1回開催します。

⇒ URL: <http://tosayamaacademy.org/nss/>

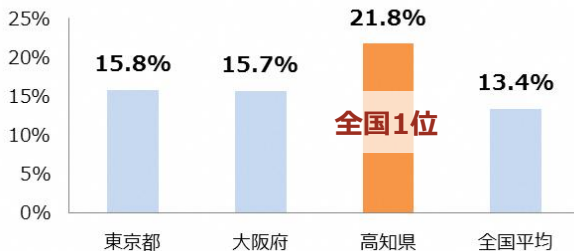


## 大都市にも負けてない！数字で見る高知家の暮らし

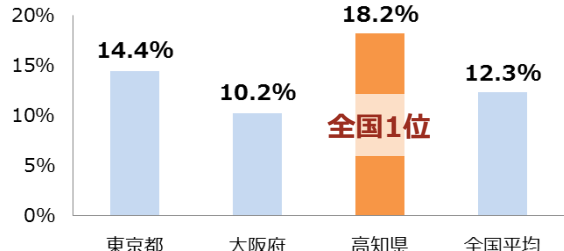
### ！ 活躍する女性の多さは全国トップレベル！

(出典：総務省統計局「平成24年就業構造基本調査」)

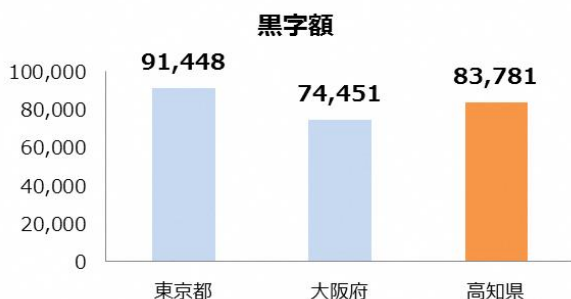
管理的職業従事者に占める女性の割合



都道府県別起業家に占める女性の割合



### ！ 家計収入から支出を差し引いた黒字額は東京都にも遜色なし！



(出典：総務省統計局「平成26年全国消費実態調査」)

### ！ 大都市圏に比べ、自由に使える時間(可処分時間)が長い！

平日の生活時間/日	東京都	大阪府	高知県
1次活動時間 (睡眠、食事など)	10時間26分	10時間26分	<b>10時間45分</b>
2次活動時間 (仕事・通勤、家事など)	8時間5分	7時間40分	7時間15分
3次活動時間 (自由に使える時間)	5時間29分	5時間54分	<b>6時間1分</b>

(出典：総務省統計局「平成28年社会生活基本調査」(総平均時間))

東京と比較して高知の自由に使える時間は  
1日で**約30分**、1週間で**約2時間30分**、  
1カ月で**約10時間**、多い！



## 旅行気分の気軽な「お試し滞在」から「本格移住体験」まで

高知県への移住を検討しつつも見知らぬ土地での生活に不安を感じる方も多いと思います。そんな方のために、**中長期滞在型の施設や、移住体験ツアーなど、高知県への移住を体験できる企画を多数用意**しています。旅行の延長のようなお試し滞在がきっかけで移住を決めた方も、「高知家で暮らし隊」に登録して頂くことで、最新情報を入手できます。

### 1. 別荘感覚で借りるひと！滞在型市民農園「クラインガルテン」

滞在型市民農園「クラインガルテン」は、ドイツで盛んな200年の歴史をもつ農地の賃借制度です。敷地の中には農園・菜園に加えて宿泊施設があり、野菜づくりを楽しんだり、他の利用者や地域住民と交流したりすることができます。



▲クラインガルテン四万十



～移住希望者を全力サポート～  
「高知家」で暮らし隊

登録者数4,600人以上！全国最大規模の移住希望者向け会員制度。引越料金・レンタカーの割引、移住者優遇ローンなど会員特典満載！！



### 2. 「田舎暮らし」を旅行で体験

県内には農村・漁村の暮らしを体験できる民宿や小学校などの廃校を活用した宿泊体験施設があります。ホテルではなく、こうした施設を利用することで、旅行者でも手軽に「田舎暮らし」が体験できます。宿の「おんちゃん」、「おばちゃん」の人柄に魅かれ、移住を決意される方も。



### 3. 短期滞在中高知を体感「移住体験ツアー」

普段の旅行では味わえない、高知の暮らしを体感できる「移住体験ツアー」。移住者のお宅訪問や、空き家・お試し体験施設の見学、夜は高知自慢の食を囲んで地元の方と楽しむ「おきやく（宴会）」など高知の自然・食・人、暮らしを体感できるツアーです。

### 4. 中長期滞在中で本格的に移住を検討「お試し滞在施設」

家財道具や調理器具が一式備えられていて、田舎暮らしを試してみることができるお試し滞在施設。いきなり移住する事に不安を感じている方や、移住先を決めかねている方におすすめです。地域の人柄や風土に触れるチャンスです。



## 移住体験ツアー ～就職編～

移住するためには「仕事」が必要です。1日で求人企業4社を訪問する「就職ツアー」を開催。高知名産のショウガの生産・加工・販売を行う企業や、芋けんぴ生産量全国シェア50%のツチトップ企業など、高知が誇る個性派の求人企業を訪問します。（次回は1月下旬に開催予定）

#### 【ツアー概要】

- 日程：平成29年12月1日（金）
- 場所：高知市、香美市、いの町、日高村
- 募集人数：15名

高知県  
就職  
ツアー

## 高知が誇る 個性派企業訪問

高知市、香美市、いの町、日高村を訪問！  
各社が皆さまとの出会いを待っています。

出発日  
**12月1日(金)**  
1DAY

就農



高知市 山崎 雅央（やまざき まさお）・理恵（りえ）さん

移住体験ツアーをきっかけに就農に関心！  
高知で新しいことに挑戦。

名古屋でレストランの店長していた山崎さん。仕事が忙しく、家族と過ごす時間がほとんどありませんでした。環境の良いところで、新しいことにチャレンジしたいという気持ちが強くなり、2014年9月に大阪で開催した高知県の移住相談会に参加した後、翌月開催された県内の移住体験ツアーにご家族で参加。そのなかの収穫体験で、野菜嫌いだっただお子様が野菜をバクバク食べていたことに感動し、それをきっかけに農業に関心を持ちました。

その後、四万十町の農業担い手育成センターでの研修、キュウリ農家の実践的な研修を経て、2016年8月に独立。現在、高知市内でキュウリ農家として活躍しています。

就職



高知市 堀部 修平（ほりべ しゅうへい）さん

自然溢れる高知で子育てがしたい！  
高知県出身の奥様と一緒に、充実した生活を送るためIターンを決意。

全国転勤がある生命保険会社で働いていた堀部さんは、会社の転勤で高知に住んでいた際、海や山などの大自然や新鮮な魚介や野菜などの食、そして何より面倒見が良くおらかな県民の人柄に心を惹かれていました。また、その間に高知の女性と結婚、子どもも生まれました。

その後、転勤で大阪に行ったものの、高知での充実した生活が忘れられず、移住を決断。高知に移住してからは、家族との時間も増え、休日には県内のイベントに参加するなど充実した生活を送っています。また、自身が感じた高知の良さをいろんな人に伝えたいという思いをカタチにするべく、「県移住促進・人材確保センター」に就職。移住・交流コンシェルジュとして、移住を検討されている方をサポートする仕事に就いています。

高知家



大豊町 窪田 文（くぼた あや）さん

移住先を探す旅で出会った大豊町の風景に一目ぼれ！  
インド人のご主人と3人のお子さんの一家5人でIターン！

今年の春、ご主人、3人のお子さんとともに家族で埼玉県から移住された窪田さん。もともと旅好きで、漠然と移住を考えていたこともあり、有楽町で開催されていた「高知暮らしフェア」を訪れたのが高知県との最初の出会いでした。その後、四国・瀬戸内や九州など興味のある地域を実際に訪問しましたが、高知県大豊町で出会った山河の風景が窪田さんご主人が共に描いた理想のイメージと一致し、移住を決意しました。

「移住する前も、移住した後もNPOのみなさんによるほどよいサポートがありがたかった」と話す窪田さん。現在ご主人は解体業を、窪田さんは春から秋にかけてはラフティングツアー会社の受付や事務、冬場はJAで働いています。移住して間もない頃には地元の皆さんが歓迎会を開いてくれたそうで、「今の環境に不満はありません」と明るく話す窪田さん一家の次なる目標は、「カレー食堂を開くこと」だそうです。



# 高知県のいろんなことをまとめたページ「高知家の〇〇」

高知県のグルメ・観光・地元情報など“あんなこと”や“こんなこと”をまとめたサイト「高知家の〇〇」。

「高知メシ」や「観光ネタ」などのほか、今年度の高知家プロモーションの牽引役に就任された島崎さんへのインタビュー記事など、充実したコンテンツで、高知県の様々な情報をお届けします。

高知県在住者、県出身者、訪問経験者、訪問したことはないけれど高知県が好きの方など、高知県に興味があるすべての方だけでなく、これまで高知県を知らなかった方にも高知の魅力を感じて頂けるまとめサイトです。

「高知家の〇〇」

<http://www.kochike.pref.kochi.lg.jp/~top/matome/>



## 2017年度高知家プロモーション 項目紹介

項目	旬・時期	概要
 土佐茶	通年	土佐茶は仁淀川、四万十川流域の津野町、四万十町、仁淀川町などの山間地域で主に栽培されています。味の深さと香りの豊かさから静岡県等の高級茶のブレンド用として買付けられるほど人気が高く、 <b>その品質は全国主産県と比較しても常に上位にランク</b> されています。夏は水出しで、冬は暖かい煎茶や土佐炙り茶と、一年中楽しめます。
 トマト	通年	<b>フルーツトマト発祥の地</b> である高知県。県内各地で競うように地元銘柄のブランドトマトが独自の栽培方法や土壌管理にこだわりを持って生産しています。高知県では産地をリレーしながら、一年中おいしいトマトを生産、また日高村「オムライス街道」など、 <b>二次・三次産業と連携した取組</b> も盛んです。
 いら	通年	高知県では多くのいらが栽培・出荷されており、その割合は全国のおよそ4分の1と、 <b>生産量、出荷量ともに日本一</b> 。時期によってハウス栽培と露地での栽培を行い、一年中出荷されています。 <b>栄養素を豊富</b> に含むいらは疲労回復やビタミンの吸収を高める効果が期待でき、出荷量日本一の香南市では「 <b>香南ニラ塩焼きそば</b> 」などのいら料理が開発されています。
 土佐文旦	12月 1-3月	高知県の果物といえば「土佐文旦」と言われるほど、 <b>生産量、消費量ともに全国1位</b> の品目。文旦の優しい甘みは、ハチミツの成分と同じ果糖による甘さです。 <b>上品な芳香も魅力</b> のひとつで、部屋の芳香剤としての利用や、残った果皮をお風呂に置いて楽しむこともオススメです。
 なす (こうちのエコ野菜)	1月-6月 10月-12月	全国有数のなすの産地である高知県。高知なす、米なす、千両なす等、種類も豊富に生産されています。なすは、冬春なすと春秋なすに分かれ、 <b>高知県は冬春なすの生産量日本一</b> 。農薬の使用を減らし、自然の力に頼ることで周辺環境の負荷を抑えた「 <b>エコシステム栽培</b> 」も特徴です。
 土佐はちきん地鶏	通年	土佐はちきん地鶏は高知県で開発された地鶏。地名の「土佐」に土佐の女性を表現する「はちきん」と「地鶏」を組み合わせて命名したものです。冷凍にも強く、 <b>アミノ酸などの旨味成分が失われにくい</b> のが特徴で、地鶏本来の旨さを味わえます。離島を除いて全国で <b>最も人口が少ない村・大川村</b> を中心に、静かな環境の中で、のびのびと大切に育てられています。
 宗田節	通年	鯉の仲間であるマルソウダ(メジカ)から作られる宗田節は、土佐清水市の名産品であり、 <b>全国シェアの7~8割</b> を誇っています。手間ひまかけた伝統製法で作られる宗田節は、マルソウダの品質の良さはもちろん、職人の腕も物を言う逸品。鯉節に比べ、コクがあって力強いダシがとれ、また <b>タウリンの量も3倍以上</b> 含まれているとのデータもあります。
 ブランド養殖魚 ・クロマグロ ・マダイ ・ブリ ・カンパチ	通年	宿毛湾や野見湾、須崎湾などでの魚類養殖業は地域の重要な産業となっています。高知県のブランド養殖魚は、独自の餌や厳しい出荷基準により天然魚と遜色ない商品を出荷しています。近年、 <b>クロマグロ養殖への新規参入</b> が続き、年々生産量が増加しています。クロマグロやカンパチは天然資源への影響を軽減するため、 <b>人工種苗への取組</b> も進めています。
 室戸海洋深層水 関連商品	通年	室戸市は <b>日本初の海洋深層水取水施設</b> を保有し、 <b>世界初の深層水飲料</b> などの、様々な関連商品展開を行っています。室戸海洋深層水には <b>60種類以上の天然ミネラル</b> がバランスよく含まれており、夏バテ防止や熱中症対策に効果が期待できます。飲料水の他にも、健康や美容関連の商品など、 <b>展開は拡大</b> しています。
 土佐和紙	通年	土佐和紙は約1000年前の平安時代から、仁淀川などの豊かな清流のもと、楮(こうぞ)、三椏(みつまた)など原料の生産や技術とともに主要な特産品として発展してきました。国内のみならず、 <b>海外でも文化財修復用紙</b> として国内外で高く評価されています。薄くて丈夫な「土佐文具帖紙」は別名「カゲロウの羽」とも呼ばれる <b>世界でいちばん薄い和紙</b> です。
 土佐木材	通年	高知県は森林面積が84%を占める、 <b>森林率日本一</b> の「森の県」です。古くからスギ、ヒノキの産地として有名で、京都東山の大本殿や大阪城の建立など、 <b>歴史的建築物に使用されてきました</b> 。土佐漆喰、土佐和紙など住宅建築に使用する自然素材と組み合わせた「 <b>土佐材住宅</b> 」が近年注目を集めています。
 志国高知 幕末維新博	【第一幕】 2017年 3月4日～ 【第二幕】 2018年 4月21日～	<b>2017年は「大政奉還」から150年、2018年は「明治維新」から150年</b> の節目の年です。坂本龍馬ら、多くの偉人を輩出した高知県では、彼らを育んだ土佐の風土・文化・食・自然などを知っていただく、「志国高知 幕末維新博」を開催。開幕日の2017年3月4日には、坂本龍馬の書状など約67,000点を収蔵する「 <b>高知県立高知城歴史博物館</b> 」がオープン。2018年4月21日には博覧会第二幕のメイン会場として「 <b>高知県立坂本龍馬記念館</b> 」の新館がオープンします。
 移住	通年	豊かな森林と青い海の国で育まれた豊かな「自然」「食」「人」が魅力の高知県は <b>移住相談件数全国2位</b> の県でもあります。2016年より10回開催している移住ツアー、東京・大阪で月1回開催している相談会など多くの取組や、 <b>移住コンシェルジュ</b> などのサポート体制も整えており、「 <b>移住に本気</b> 」の県です。